

解析学 I 演習に対する注意

- 演習の目的は (1) 各自が演習を通じて理解を確かなものにする事、(2) 私が全体の理解度を把握する参考にする事、にあります。
- だから、課題を提出しないことで不利になることはありません。
- ただし、提出するとほんの少しだけ有利になります。
- 演習中、私への質問、近くの人との相談・質問は自由に行ってかまいませんが、立って歩いたりはしないで下さい。相談可ですが、あまりうるさくならないようお互いに注意して下さい。
- 講義時間終了前にできた人は提出して退室してもかまいません。
- 課題は時間の終わりまでには提出して下さい。
- ただし、時間内の演習が不十分と感じた人が追加のレポートを提出することは OK です。提出を希望する学生は直接研究室へ持参して下さい。
- 演習問題の解説を適当な時期にネットに載せます。ただし講義で配ることはしません。演習問題解説に間違いを見つけた人は連絡をお願いします。
- 提出された課題は default では返却しません。自分で参考にした等返却を希望する学生に対しては返却するので、提出後 2 週間以降を目途として研究室に来て下さい。
- 演習問題のすべてを演習時間にやることはできません。できない問題は各自学習して下さい。
- 演習問題の中に星印のついた問題があります。これは解くと理論に対する理解が深まる問題であるが、困難性も多く、全員に解くことを要求はしていない問題です。意欲のある人は積極的にチャレンジして下さい。
- 演習問題の提出用紙には名前と番号を書いて下さい。番号は次の様に記入して下さい。再履修の人は学生番号 10 桁をフルに書く。

1年生は自分の学生番号の6桁目から9桁目までを抜き出し、
先頭部分に何個かの0があればそれを略したものを書く。

例えば学生番号が1310802305の場合、6桁から9桁を抜き
出すと0230なので230と書く。